

### 第 3 回「地方行政のための GIS チュートリアルセミナー」

#### ー北海道の過疎対策と小地域人口分析ー

The 3rd GIS Tutorial Seminar for Administrators:

Measures for Depopulation in Hokkaido and Demographic Analysis of Small Areas

組織者：井上孝（会員・青山学院大学）

座長：同上

討論者：チュートリアルセミナー形式なので設けない

報告者：4 名程度を予定

#### 趣旨：

昨今、GIS（地理情報システム）の急速な普及と人口データの利用環境の向上によって、市区町村レベルあるいはそれ以下のいわゆる小地域レベルでの人口分析が容易に行えるようになった。これらの人口分析の技法は、少子・高齢化対策、過疎対策、都市計画、防災、地域医療・福祉など、地方行政のさまざまな分野で大いに役立つことが期待できる。しかし、そうしたノウハウを啓蒙する機会が公的機関や一部の地方自治体が主催するセミナー等に限られており、必ずしも進んでいるとはいえない。一方、日本人口学会はそうした人口分析の技術を有する専門家が多数所属しており、そうした技法を地方の行政担当者へ伝達することも学会の社会的貢献の一つと考える。本セミナーは、多数の参加者が集う大会開催時に、こうした趣旨を実行に移すべく企画されてきたものであり、今回は一昨年の京大大会、昨年の東大大会に続き 3 回目となる。

過去 2 回のセミナーでは、関西地方（第 1 回）ならびに関東甲信越（第 2 回）の全自治体に案内状を送付しいずれも多数の行政担当者に参加いただいた。その結果、参加者からこの企画の継続を要望する声が多数寄せられ、たいへん有意義なセミナーとすることができた。そこで今回は、札幌市立大で大会を開催するにあたり北海道の全自治体に案内状を送付し参加者を募る予定である。また、北海道の過半数の自治体が関心を持っているであろう過疎対策を中心テーマのひとつに掲げたいと考えている。